



「TEAM EXPO 2025」プログラムとは

「TEAM EXPO 2025」プログラム

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことをめざす取組のこと。

共創パートナー

自らのリソースを提供して共創チャレンジや他のチャレンジを支援する法人・団体等

▶ 令和4年7月末 **富田林市はパートナー登録**

連携
フィールド活用

チャレンジ登録促進
フィールド提供

共創チャレンジ

大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となって未来に行動を起こしている、または起こそうとしているチーム活動のこと。

「SDGsへの貢献」「国家戦略Society5.0の実現」をテーマに掲げ、2025年に開催が予定される大阪・関西万博は、本市においても、これまで続けてきたSDGs取組の展開として、マルチパートナーシップのさらなる推進や、産業・経済分野の取組の具体化につなげるとともに、IoT・AI分野等の先端技術による今後の地域DXの研究や、インバウンドを含めた新たな誘客促進等のチャンスととらえ、万博への積極的な参画とその活用を進めたいと考えています。

万博への参画方法については、関連する組織ごとに様々な取組や入口が用意されていますが、中でも本市が先行して取り組んでいるのが、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（通称：万博協会）が事務局の「TEAM EXPO 2025」プログラムです。

これは、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、行政や民間企業、教育機関、団体等、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことをめざす一連の取組のことで、「共創パートナー」と「共創チャレンジ」という2種類の登録制度が設けられています。

「共創パートナー」は、自らのリソースを提供して共創チャレンジや他のチャレンジを支援する行政や法人・団体等を登録するもので、「共創チャレンジ」は、「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となって未来に行動を起こしている、または起こそうとしているチーム活動を登録する制度です。

本市は、令和4年7月に「共創パートナー」の登録を完了し、市自らが万博やSDGsの実現に貢献するとともに、富田林市内の企業、教育機関、団体等のみなさまの取組を、フィールド提供や広報面で支援し、新たな「共創チャレンジ」を生み出していくものとしております。この「共創チャレンジ」につきましては、市内の企業がすでに登録されていますが、共創パートナーとしての役割を担う中で、今後さらなるチャレンジの創出につなげていきたいと考えています。

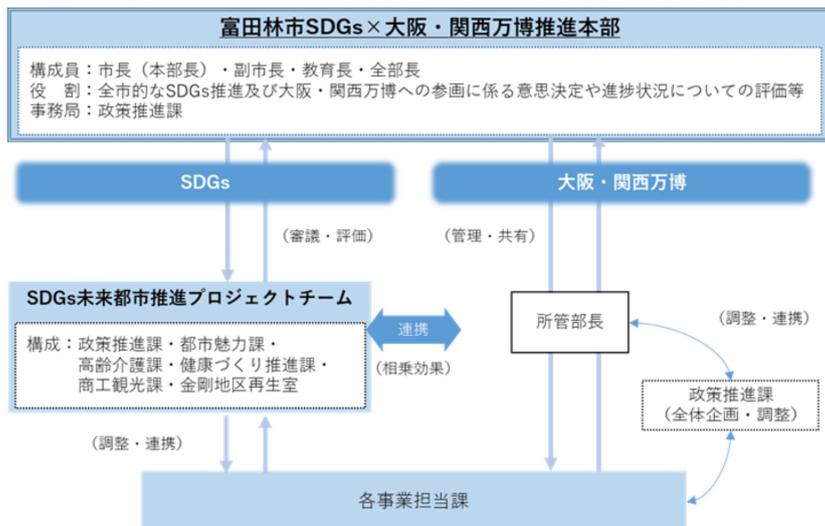
共創パートナーとして取り組むこと

富田林市の役割

- 「富田林市SDGsパートナーシップ制度」を活用した民民連携や共創チャレンジの促進
- 様々な主体との連携により、「介護予防・健康ポイント事業（通称:あるこっと）」（自治体SDGsモデル事業）をはじめとする事業のさらなる推進
- 共創チャレンジの取組促進に向けた、フィールド提供や情報発信

令和4年10月

富田林市SDGs×大阪・関西万博推進本部を設置



共創パートナーとしての富田林市の役割については、

- ・ 「富田林市SDGsパートナーシップ制度」を活用した民民連携や共創チャレンジの創出促進。
 - ・ 様々な主体との連携により、「介護予防・健康ポイント事業（通称:あるこっと）」（自治体SDGsモデル事業）をはじめとする事業のさらなる推進。
 - ・ 共創チャレンジの取組促進に向けた、フィールド提供や情報発信。
- といった内容について、パートナー登録時に申請をしています。

これら「共創パートナー」としての役割を、市の各部局が一体となって取り組むための実施体制としてまして、令和4年10月に、「富田林市SDGs×大阪・関西万博推進本部」を新たに設置しました。これにより、市長をトップに、理事者、各部長、各事業担当課が、タテにもヨコにも柔軟な連携体制を構築しながら、SDGsと万博関連の取組を連動して推進するものとしています。

これらの取組を通じまして、市独自で大阪・関西万博へ積極的に参画し、この好機をしっかりと活用してまいりますとともに、その取組成果をさらに地域や地域のみなさまに還元することで、富田林市の課題解決や魅力向上につなげてまいります。